



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary

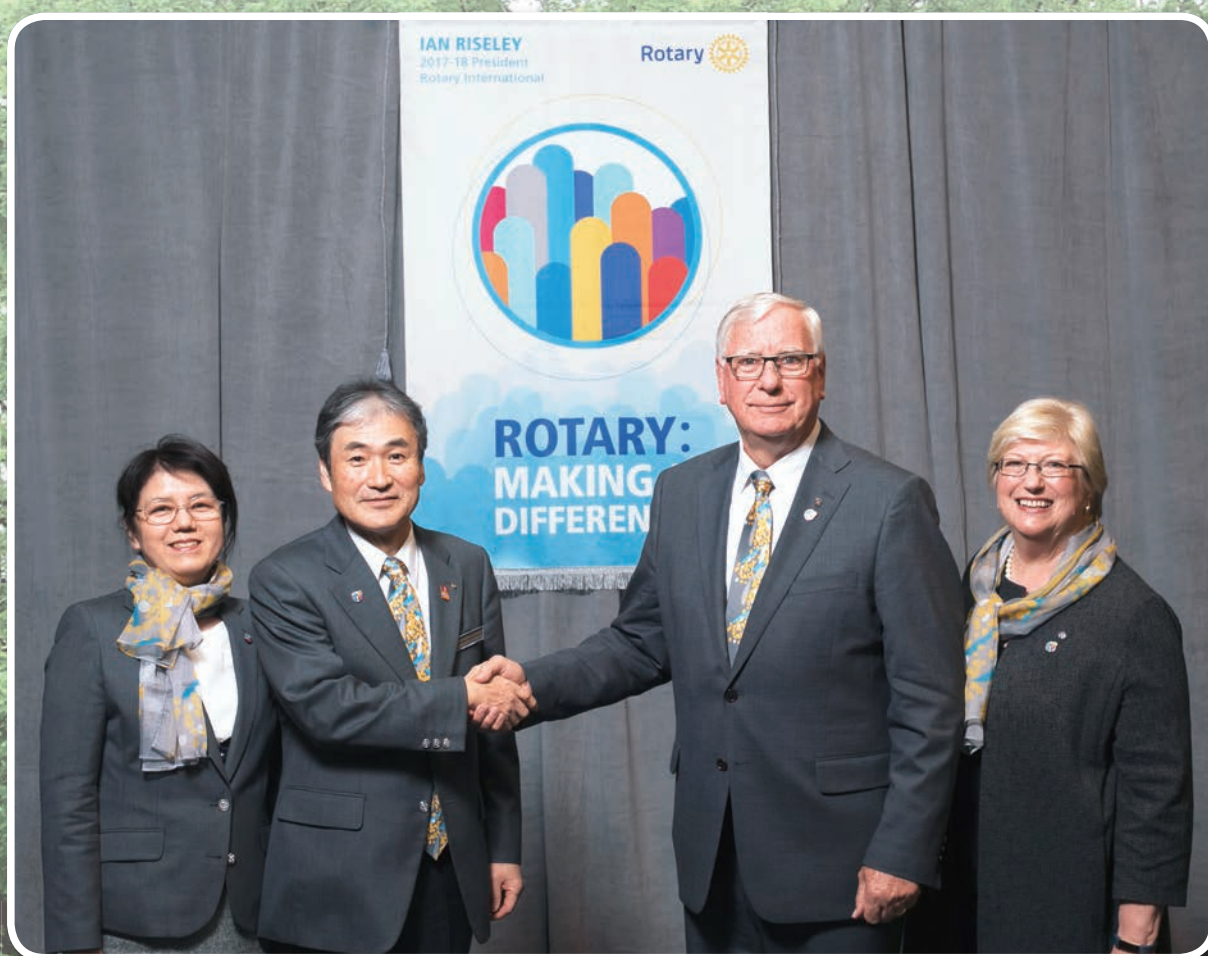


■ ガバナー月信 ■

Vol. 1

2017. 7月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



イアン H.S. ライズリー RI 会長ご夫妻・大貫等ガバナーご夫妻

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスタワー東館1階

TEL : 0488-827-0022 FAX : 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <http://www.ri2770.com>

2017-18 年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

ロータリー：変化をもたらす



数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。

どこから説明してよいか分からなかったのです。ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって。

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感とは、毎週、毎年、「変化をもたらす」

ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。

2017-18 年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

ご挨拶



2017～18年度 ガバナー
国際ロータリー第2770地区
ガバナー 大貫 等 (上尾西 RC)

いよいよRI会長イアンHSライズリー氏指導のもと、RIテーマ「ロータリー:変化をもたらす」の始まりです。これは、今年の1月に米国サンディエゴの国際協議会で発表されたRIテーマですが、とてもわくわく心躍らされるテーマです。「私たちは生きていだけでも他の人に変化を与えています。しかも良い変化をもたらしています。ですから大いに変化をもたらせましょう」。そして今懸念されることとして、地球の環境変化、特に地球温暖化があるとされました。これは彼が39歳の時に、チェルノブイリ原発事故で周辺に放射能が漏れたことにより住民や子供達が避難をした現地に乗り込み、援助活動をしたことがベースになっています。そこで「一人1本の植樹」を呼びかけました。しかも植えただけでなくその後の管理もしましょうという、持続性継続性を強調されました。そして持続性継続性の最も良い例として、ロータリーの「ポリオ撲滅活動」を挙げています。また一方で、ロータリーの未来として、40歳以下や女性会員数の低さを懸念されました。このままではロータリーが忘れ去られる、同時に世界人口は男女半々なのにロータリーでは女性が20%しかいない、もっとアピールしないとロータリーは弱体化するとも言及されました。またいかなる前向きな戦略計画を立てるか、どのようなビジョンの上に立って戦略を立てるか、そして大きなプロジェクトには持続性継続性が必要で、ロータリー財団による6つの重点分野は正にそこから確立されたと話されました。そして最後に「私達はロータリーに変化を起こしたいのか、そのまま良いのか、いつも同じことをやっていると同じ結果の繰り返し」と締めくくりました。

そこで本年度地区活動方針を「新たな行動 新たな感動」と致しました。「行動する」はロータリーを語るうえでのキーワードとしてよく登場します。その行動がいつも同じですと、そこに集まる人々も同じです。決まった対象にしかスポットが当たりません。ところが行動を変化させると、どういうことが起こるのでしょうか。どんな変化が起こるのでしょうか。恩恵を受ける方々はどうでしょうか。それまでの行動と比べることはありません。行動するという価値には変わらないからです。ですからそれぞれの行動を比較する意味はないのです。もしも成果を評価されるのであれば、恩恵の方向性を変えたことを自負して下さい。そこから少しずつ新たな進化をさせていけばよいのです。それが正に「変化をもたらす」ことであり「新たな行動」なのです。勇気を持って新しいことに挑戦してみましょう、批判は承知で。ゼロからスタートしなくても、今までの事にあなたの意見アイデアを盛り込んで、リニューアルさせて行動するだけでも変わっていきます。そして達成された向こうには素晴らしい新たな感動が、絶対待っているはずです。

是非ともこの一年、素晴らしい奉仕活動が皆様とともに出来ますことを願っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶



直前ガバナー

浅水 尚伸（越谷南 RC）

ガバナー年度を通じて、第2770地区の会員の皆様には、公式訪問、各種セミナー、地区大会と、常に暖かく迎え入れて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。また、レベルの高い当地区の地区役員の並外れた行動力とスタッフのきめ細かい心使いに支えられて、ガバナー年度をどうにか終えることができました。心からお礼を申し上げます。

私は、ロータリークラブが楽しいものでなければ、クラブの活性化はなく、会員にとってのロータリークラブの存在価値も薄らぐと思ひ、どのクラブもその個性を大事にして、これからのプロジェクトの立案、クラブの運営方法などを全員で考えていくことが不可欠であるということを強調してまいりました。広く、クラブの自主性・柔軟性が認められた現在、各クラブがクラブとしての歴史・伝統を踏まえ、新たに前向きに発展できる絶好の機会であると思ったからでした。ガバナーとしてのこの思いを汲んでいただき、多くのクラブで実績を残していただきました。これからも、各クラブにおかれては、常に、前向きに積極果敢に、この歩みを続けていくことを願って止みません。

さて、次年度が始まるにあたり、大貫ガバナーには、様々な方の意見に耳を傾け、この地区のさらなる発展にお努めいただきたいと思ひます。常に日本を、いや世界をリードする地区のガバナーとして大いに活躍して頂けるものと確信をしております。特に、日本のロータリー100周年記念、東京オリンピック・パラリンピックの開催年度を間近に控えた年度に、今一度、当地区の将来像を見つめ直し、さらなる飛躍を期すことが大貫年度の使命ではないかと思ひます。また、国際奉仕の分野においては、地区が主導してプロジェクトを実施する段階は終わりつつあり、今や、地区内の各クラブが主体的にプロジェクトを実施し、個々に海外のクラブとの交流が始まってきています。大貫年度においては、日韓・日台親善会議の開催のほかに、この流れを地区として支援していくことが求められていると思ひます。とは言え、肩に力が入りすぎるとは、柔軟な思考はできません。心に余裕をもって、地区をリードして行って頂きたいと思ひます。今後は、私も、パストガバナーとして、少しでも地区の皆様にご恩返しができるれば幸いと思ひ大貫年度を陰ながらご支援申し上げたいと思ひます。第2770地区のすべての会員の皆様、私同様、大貫ガバナーにご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

大貫年度スタートにあたり



地区研修リーダー

三國 明 (春日部西 RC)

いよいよ大貫年度のスタートとなりました。

結団式、数回にわたるガバナー補佐会議、部門委員長会議、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会をへて新しい年度の出発を迎えました。

110年の歴史を持つ国際ロータリーは今や、厳しい変革のまっただ中にあると言えます。

今年度の国際ロータリー会長ライズリーは、「ROTARY; MAKING A DIFFERENCE」と呼びかけました。良いことをして世界を変えていこう、世界を変えるような良いことをしよう！と言うわけです。その為にロータリーのあり方をも変え柔軟性を持ったクラブ運営に取り組もう！と訴えております。

ロータリー全体の今の最重要課題は何と言ってもポリオ撲滅です。その次に、6つの重点項目がありますが、ライズリーは特に地球環境保全を全世界に呼びかけました。持続可能な地球環境のために、全世界のロータリアンがこぞつて一本の植樹をしようと呼びかけております。増強拡大に関しては、先ず女性と若い世代の入会を一層進めようとして強調しています。次に、特定のテーマを持ったクラブの設立を提案しております。

ところで、国際ロータリーの会員は各クラブであります。何事においてもクラブが主体であります。それ故に、クラブ会長をはじめとするクラブのリーダーのあり方、リーダーシップが最も重要であります。理事会やクラブ協議会において諸々のことを十分話し合って決定し、実行に移す事が根本的に重要であります。会長や幹事や一部のベテラン会員の上位下達的な運営は慎むべきです。その際、RI会長やガバナーの方針を尊重することは当然であります。

世界のロータリアンの数はここ久しく斬減傾向にあります。残念ながら特にロータリー先進国と言われる国において減少傾向が認められます。折角ロータリアンになったのに、入って見たら有意義で参加意欲の湧く奉仕活動が無いとか、ロータリーの何たるかについて説明がないとかの理由で、失望、退会してしまう会員は非常に多いのです。この点について、クラブのリーダーはしっかりとした対策を立てて実行していただきたく思います。

国際ロータリーは、その長期戦略計画として3つの増加を謳っております。会員の増加、奉仕の増加、公共イメージ向上の増加であります。しっかりした地域社会のニーズに沿ったインパクトのある社会奉仕活動を通して、地域の人々や諸学友の参加を促し、イメージの向上につなげれば、会員の増加は結果としてついてくることでしょう。

このガバナー月信は、毎月送られる、ガバナーから個々のロータリアンへのダイレクトメッセージであります。クラブ公式訪問を除き個々のロータリアンへ直接的に届けるガバナーのメッセージであります。大貫年度の新しい工夫点、学友関連の記事の充実、クラブファーストの視点。乞うご期待であります。

色々述べましたが、会員の友和と親睦を大事にしてロータリーライフを大いに楽しむ一年にしようではありませんか！新たな奉仕活動、新たな感動！

ガバナー補佐挨拶



第1グループ ガバナー補佐
半田 正一 (浦和東RC)

今年度、国際ロータリー イアンH・S・ライズリー会長は「ロータリー：変化をもたらす」というRIテーマを発表されました。それを受け、大貫等ガバナーは「新たな行動 新たな感動」との地区運営方針を示されました。

ガバナー補佐の務めはいくつもあるかと思いますが、一番重要な事は、ガバナー方針を各クラブに正しく伝え、よって各クラブの効果的な運営をしっかりとサポートする事かと思えます。

ロータリーの原点はクラブにあります。第1グループは浦和RC、浦和東RC、浦和南RC、浦和中RC、浦和ダイヤモンドRCの5クラブです。当然各クラブは歴史も規模もやり方も違います。大事な事は、一日も早く5クラブの特色を正確に把握し、各クラブの強み弱みを少しでも良い方向に向かう様、支援、協力を陰に陽にしていく事でしょう。その為には各クラブのリーダー、特に会長幹事さんとよくコミュニケーションを図り、一年終わってみれば皆で素晴らしい感動の一年であったと共感できる様頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。



第2グループ ガバナー補佐
福田 剛紀 (浦和北RC)

私が20年前に浦和北ロータリークラブに入会するずっと以前から、大貫等ガバナーには大変お世話になっておりました。家業である広告の大事な大事なお客様～♥。私が今でも上尾方面に足を向けて寝ていない理由はそこにあります。

大貫ガバナーの穏やかで周囲の人を笑顔にさせるお人柄をお慕いし続け、この度、第2グループのガバナー補佐を命じられた事を大変嬉しく

受け止めております。過去に当地区の青少年交換委員会でご一緒した際、よく私が「いつかはガバナーに、と期待されていらっしゃいますね」と申し上げると、大貫委員(当時)は一笑に付してから決まって「そんなバカナー！」と同じジョークで返して下さいました。恐らく100回は聞いているでしょう。

しかし、それが現実になりました。これから1年間、尊敬申し上げる少しお茶目な大貫ガバナー、そして第2770地区第2グループのロータリアンの皆様の為に、自分なりにガバナー補佐の務めを果たしてゆきたいと考えております。どうぞ宜敷くお願い申し上げます。



第3グループ ガバナー補佐
柴田 覚 (大宮南 RC)

この度、第3グループガバナー補佐を拝命しました柴田 覚と申します。

さて、2017～2018年度 RI 会長イアン H.S. ライズリー氏は「ロータリー：変化をもたらす」を RI テーマに、大貫等ガバナーは「新

たな行動 新たな感動」を地区運営方針に掲げられました。大貫 等ガバナーの方針・目標を踏まえ、第3グループの6クラブがより一層効果的なクラブかつ元気なクラブとなれるよう、微力ですがサポートしてまいります。あくまでも主役は各クラブ会長・幹事をはじめ会員皆さまです。1年後のそれぞれの変化を楽しみに、お互い協力してまいりましょう。皆さまのご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



第4グループ ガバナー補佐
清水 恒信 (大宮西 RC)

この度第4グループの皆様よりご推薦のもとに大貫ガバナーから第4グループのガバナー補佐を委嘱されました

ご承知の通りイアン H.S. ライズリー R.I. 会長は R.I. テーマを「ロータリー：変化をもたらす」と発表致しております。そして地区運営方針は「新たな行動 新たな感動」と言われております。

R.I. 会長の思い入れ、そして 2770 地区大貫ガバナーの思いを 4 グループの各クラブ会長、幹事さんに伝えて参りたいと存じます。

さて A.G. 挨拶です話ではない事は百も承知ですが、敢えて話をさせていただきます。私の父は 63 歳で世を去りました。然しその時自分自身が将来 63 までに死ぬとは思いませんでした。74 まで生きていたとも思いませんでした。生きようとする気持ちは勿論大切ではありますが……そう……我々は生かされ

ているのであります。A.G. はこの歳なのでお声をかけられた当初は憚りまして、お断り申し上げましたが、多くの先輩方々に教えを受け、そして生かされて参り、御恩返しはこの機会しかないと感じ寧ろ進んでお引き受けしたつもりでもあります。

大分大上段に構えましたがご承知の方々も多い訳ですが又何処からか、清水のヤツ、又何か言い出したなと聞こえて参りそうでも有りますが、奉仕活動も親睦活動も楽しくやるのが一番であります。再度申し上げます。ロータリーの目的や R.I. の考え方、地区の方針は既に会長、幹事、各クラブ委員長、と共にペッツ、地区研修・協議会で一緒に勉強致しました。

そしてクラブを司る会長、幹事を始め各委員長、理事の皆様、会長エレクトセミナー、地区研修・協議会において得られた、新たな出会い、新たな感動の出会いを、繰り返し思い起こしていただき各クラブ内外を通じて大貫ガバナーの言われる「新たな行動 新たな感動」に向かって邁進頂きたく思います。「ロータリー：変化をもたらす」に通じます。

一緒に勉強、お手伝いをさせていただきます。



第5グループ ガバナー補佐
池田 遙愷 (桶川 RC)

今年度第5グループのガバナー補佐を拝命いたしました池田遙愷と申します。

当グループから津田健三、大塚信郎両 PG に次いで大貫等ガバナーが3人目のガバナーとして登場し大いに活躍が期待されます。大貫ガバナーは地区方針として「新たな行動、新たな感動」の第一歩を踏み出して下さいと言っています。

昨年の規定審議会の改定を見ればロータリーの

潮目が変わり、RIの危機感が強く見受けられます。RIも日本のロータリーも地区もクラブにおいても「変化をもたらす」ことが求められています。

特に一つ、ひとつのクラブが元気になるために何が必要なのかクラブ協議会を頻繁に開き「クラブの健康チェック」による課題をクリヤーするビジョンの策定をしなければなりません。

既に会長・幹事会を数回開きました。今、注目度 UP の女性会長さん、会長経験のある頼れる会長さん、将来を担う新進気鋭の会長さんと、多士済済の方々ばかりですので、効果的なクラブ運営を図るための明確な目標を立て、実行されることを期待致します。

一年間共に勉強しましょう。



第6グループ ガバナー補佐
海老原 秀典 (春日部南 RC)

第6グループのガバナー補佐を拝命しました春日部南ロータリークラブの海老原秀典です。大貫ガバナーのご指導のもと、会長幹事の他、多くの会員のご意見を頂き、ガバナー補佐としての責務を努めさせて頂きます。皆様のご協力をお願い致します。私の抱負ですが、イアン・ライズリー RI 会長の「ロータリー：変化をもたらす」テー

マのもと全クラブが会長賞の受賞を得ること。また、大貫ガバナーの運営方針の「新たな行動 新たな感動」を理解し、感動の喜びを感じることに微力ながら邁進する所存です。5月20日に春日部南クラブ4名が発起人となり、第6グループ：ツーリングクラブを設立しました。15名の参加頂き全員が「新たな感動」を得ました。ゴルフ以外の親睦・奉仕事業として成長することでしょう。いずれにしてもクラブが運営主体です。各クラブの行動による感動が、私も「感動」として感じる事を抱負と目標といたします。各クラブのご健勝をご記念申し上げます。

『学友の窓』のご案内

学友管理委員長 伊藤 公仁 (戸田西 RC)



「学友は宝だ！」と思います。私たちにとって、学友の持っている経験・知識・情報・人脈は大きな財産です。しかしながら、その財産を有効に活かしているのでしょうか。宝の持ち腐れになっていないでしょうか。少し不安を覚えます。

「世界平和を実現できる人になってほしい」「日本とアジアの国々がお互いをもっと理解できる懸け橋になってほしい」「様々な分野で活躍してほしい」「国際人として世のため人のために生きていくきっかけになってほしい」そういう願いを込めて、私たちロータリアンは彼らにチャンスや支援を与え、いろいろな活動に参加してもらいました。

いわば、種を植えてきたのです。そこから芽を出し、きれいな花が咲き、大きな実がなることを願ってきました。人が豊かに育っていく姿を見守れるのは、私たちにとって至上の喜びでもあります。ただ残念ながら、

そんな学友の体験や成長、活躍ぶりを見聞きする機会が少なかったような気がします。

そこで、『学友の窓』としてガバナー月信に毎号2、3名の学友の紹介を掲載いたします。どんな体験をしたのか、現在どういう仕事をしているのか、将来どのような事がしたいのか等々、ロータリーとの関わりの中で起こった出来事や、これからの夢や計画を紹介してもらおうと思います。

さあ学友の窓を開け、新たな世界を覗いてみましょう。

学友とは：ロータリー財団奨学生、世界平和フェロー、GSE、VTT、米山記念奨学生、青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト、RYLAの奨学生・留学生・参加者の卒業生のことです。場合により現役生も含むことがあります。



第7グループ ガバナー補佐
林 明 (久喜RC)

国際ロータリー第2770地区第7グループを委嘱されました久喜ロータリークラブ所属の林 明です。クラブ入会は1989年、今年28年目になります。

6年前に第39代会長を無事終了その後地区へ職業奉仕、社会奉仕へと出向させて頂いております。

三國年度の時の会長で職業奉仕では各クラブへの卓話と、とても刺激的な地区活動を体験させて頂きました。

これからは、若いメンバーはぜひ地区へ出向して色々な事を体験して下さい。とても素敵な出会いが待っています。

東北支援にも社会奉仕メンバーと現地へと、地区大会での奉仕活動も良い思い出です。

今年度第7グループ内で合同例会を提案していますので一年間、仲間作りと変化を求めて参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



第8グループ ガバナー補佐
原 美光 (越谷東RC)

ロータリークラブは、その地域の事業主・専門的な職業を持つ人・地域社会のリーダーたちが集まって、親睦と奉仕の実践を目的とするクラブで、ロータリークラブとは「親睦の中から奉仕の理想を生み出す」集団と言えるのではないのでしょうか。

クラブ毎に、その地域で必要とされる社会奉仕活動、青少年への支援・援助・啓蒙活動、災害支援など、その地域で真に必要とされる奉仕活動に取り組んでいることと思います。大貫等ガバナー年度の今年、地区運営方針「新たな感動 新たな行動」を求めて、継続事業、新規事業の見直しをクラブ内で始めてみませんか。会員が見て、聞いて、理解して、本当に必要な活動だと思ったとき、クラブの仲間に理解を求め仲間が賛同して支援の輪が広がります。奉仕の仕方もお金を出すだけでなく、会員が体を使った奉仕、事業を通して行うもの、精神的

な奉仕活動などさまざまな形があるのではないのでしょうか。

ロータリークラブとは奉仕を行う団体ではなく、奉仕をする人たちが集まった団体です。

例会はリラックスした親睦の場で、明るく、楽しくて、次の集いが待ち遠しいと思うものだと思います。その中で築かれた親睦、信頼から人のために尽そうという奉仕の心が徐々に生まれて来るように思います。

クラブ例会で「奉仕の心を学び 実践をする」まさに、「入りて学び 出でて奉仕せよ」ではないのでしょうか。

このようにしてロータリーは人を育てているのではないのでしょうか。

あの人がいるから自分も仲間になりたいと言われる様ロータリーで自分磨きをしましょう。

第8グループの各クラブ運営が円滑に進められますよう、クラブ、地区、国際ロータリーの情報をしっかり伝達すると共に、各クラブの要望を地区に伝達していきたいと思っております。

一年間、皆さんと共にロータリーを楽しみたいと思っております、是非皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第9グループ ガバナー補佐
佐々木 一男 (草加松原 RC)

第9グループ草加、八潮5クラブのロータリアンの皆様、1年間宜しく、お願い申し上げます。

さて、2017-18年度イアンH.SライズリーRI会長は、R.Iのテーマとして、「ロータリー；変化をもたらす」と掲げました。ライズリー会長は、それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしてもその理由は、奉仕を通じて、人びとの人生に変化をもたらせる

と信じているからです。といわれています。皆様もロータリアンの誇りをもって、地域社会、国際社会等、多くの奉仕活動に精進する1年にしましょう。

大貫 等ガバナーは2017-18年度地区運営方針として、「新たな行動、新たな感動」を掲げました。今年度から少しずつクラブの中で新しい動きを、始めてみませんか。1年で終わってしまう奉仕もあるでしょう。複数年度もかかる奉仕活動もあるでしょうが、少しずつ、ちよとずつ、です。奉仕活動を、楽しみながら、人づくり、自分づくりのために、行動し、実践、実行しましょう。

「ロータリー；変化をもたらす」



第10グループ ガバナー補佐
宇田川 初夫 (三郷 RC)

イアンH.S.ライズリーRI会長（オーストラリア・ビクトリア州・サンドリングムロータリークラブ所属）は、RIテーマとして持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化防止が極めて重要であると訴えました。そして「ROTARY：MAKING A DIFFERENCE（ロータリー：変化をもたらす）」を掲げられました。ロータリーは7月1日より2018年4月22日の「アースデイ」までの期間、会員一人1本の植樹をと呼びかけました。その取り組みは地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことにもあります。第10グルー

プも一人1本の植樹を実施していきましょう。

大貫等ガバナーは、RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」を基に、地区運営方針を「新たな行動 新たな感動」を掲げました。新たな奉仕活動に取り組むことによって、新たな感動を産み、クラブを活性化し、効果的なクラブを目指していきましょう。第10グループの目標として、ロータリー戦略計画である3つの優先項目＜クラブのサポート強化＞、＜人道的奉仕の重点化と増加＞、＜ロータリーの公共イメージと認知度の向上＞の達成し、RI会長賞を第10グループの各クラブが受賞できるように尽力して参りたいと思います。第10グループインターシティミーティングと第9グループ第10グループ合同インターシティミーティングゴルフ大会を開催致しますので、ご協力をお願い致します。



第11グループ ガバナー補佐
熊井 初雄 (鳩ヶ谷RC)

2017～18年、大貫ガバナー年度第11グループガバナー補佐を拝命いたしました鳩ヶ谷ロータリークラブ所属の熊井初雄です。

浅学非才の私が、当鳩ヶ谷クラブの皆さんと、井原年度、11グループの峯ガバナー補佐始め会長幹事の皆さん及び11グループの皆さんのご協力のもと、本年度一年間を大貫等ガバナーの文字通り補佐役として、ガバナー地区活動方針「新たな行動 新たな感動」を11グループ



第12グループ ガバナー補佐
植野 正裕 (戸田RC)

2017-18年 大貫年度、第12グループガバナー補佐を拝命いたしました、戸田ロータリークラブの植野正裕です。

一年間何卒よろしくお願い申し上げます。

2017-18年度のイアン H.S. ライズリー RI 会長のテーマは

「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」(ロータリー: 変化をもたらす) です。

イアン H.S. ライズリー会長は環境保護と温暖化防止が極めて重要であると訴え、全人類への脅威であり、影響を受ける最も弱い立場の人々を救済する必要があると述べております。

また、ロータリーの未来を守る、そして「ロータリーとは何ですか」と問いかけております。

大貫ガバナーは地区テーマをRIテーマと同一に「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」(ロータリー: 変化をもたらす) としました。

の皆さんに理解して戴き、実践して行く事が最大の目標と考えております。

又、各クラブの訪問と会長幹事会において親密な意思疎通を図り、活力あるクラブ運営と会員皆さんにとって少しでも意義ある「IM」を行う所存であります。

RI 会長イアンライズリー氏の「ROTARY: MAKING A DEIFFERENCE (ロータリー: 変化をもたらす)」テーマと、規定審議会の決定事項にあります「各クラブの自主性」に重きを置いた、感動される奉仕、感動する奉仕活動に尽力し一年間頑張りたいと思います。皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

活動方針は

1. 会員増強維持 (女性会員10%、40歳未満の会員と退会防止)
2. ポリオ撲滅の最終年度の始まりとなるように支援する
3. 奉仕活動の支援
(社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)
4. 財団への理解と活用
5. 公共イメージを向上させるアイデアとその実践
6. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
7. 全クラブがRI会長賞に挑戦しよう
8. 規定変更に伴う推奨ロータリークラブ細則の見直し

以上、大貫ガバナーが今年度掲げた目標であります。

各クラブへの定期的に訪問し、目標に対する進捗状況や地区とクラブを円滑に進めるパイプ役として、またグループ内の交流、合同プログラム等の調整役として1年間微力ながら務めてまいりますので、皆様のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

2017年 公式訪問日程表(案)

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日				1		
月				2 戸田		
火		1 浦和北東		3 川口北東		
水		2 三郷ウエズデー 八潮イブニング		4 庄和	1 川口南	
木		3 越谷東		5 上尾 桶川イブニング	2 草加中央	
金		4 合同会議	1	6 諮問委員会	3 文化の日	1
土	1 ガバナー会	5	2	7	4	2
日	2	6	3	8	5	3
月	3	7 川口中央	4 大宮西	9 体育の日	6 スタッフ会議	4
火	4 諮問委員会	8 川口シティ鳩ヶ谷	5 川口西	10 鴻巣	7 八潮 松伏	5
水	5	9 鴻巣水曜	6 蓮田	11 越谷北 吉川	8 川口北	6 上尾西
木	6	10 久喜	7 八潮みらい	12 杉戸	9	7
金	7 事務局研修会	11 山の日	8 上尾北	13 ガバナー補佐会議	10	8
土	8	12	9 川口モーニング	14	11 地区大会	9
日	9	13	10	15	12 地区大会	10
月	10	14	11 浦和南	16 地区大会 記念ゴルフ大会	13	11
火	11	15	12 大宮南 さいたま櫛	17 大宮北東	14	12
水	12	16	13 川口むさし野	18 大宮 大宮シティ	15	13
木	13 越谷南	17	14 栗橋	19	16 さいたま中央	14
金	14 三郷	18	15	20 地区大会実行委員会 スタッフ会議	17	15 合同会議
土	15	19	16 さいたま大空	21	18	16
日	16	20	17	22	19	17
月	17 海の日	21 さいたま新都心	18 敬老の日	23 埼玉ゆず	20 財団地域セミナー	18
火	18 蕨	22	19 さいたまシティ 大宮中央	24 越谷中 三郷中央	21 RI会長歓迎晩餐会	19 諮問委員会
水	19 浦和北	23 浦和ダイヤモンド	20 幸手	25 大宮東	22 ロータリー研究会	20
木	20 春日部西	24 鳩ヶ谷 浦和中	21 川口	26 岩槻	23 ロータリー研究会 勤労感謝の日	21
金	21	25	22	27	24	22
土	22 北本(18:00)	26	23 秋分の日	28	25	23 天皇誕生日
日	23	27	24	29	26	24
月	24	28	25	30	27 草加松原	25
火	25 越谷	29 川口東	26 春日部	31 岩槻東	28 大宮北 幸手中央	26
水	26 春日部南	30	27 桶川		29 川口/鳩ヶ谷武南	27
木	27 戸田西 戸田イブニング	31	28 浦和東 春日部イブニング		30	28
金	28 浦和		29			29
土	29		30			30
日	30					31
月	31					

上段：昼点鐘 下段：夜点鐘
 [&]：合同クラブ

※予定は変更になる可能性があります。
 ※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通じて地区へご連絡願います。